

2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月31日

上場会社名 マックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6454 URL <https://www.max-ltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 辰志

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役上席執行役員 (氏名) 角 芳尋

TEL 03-3669-8106

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・ファンドマネージャ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	22,588	6.5	3,988	13.6	4,572	9.0	3,340	14.4
2024年3月期第1四半期	21,200	4.2	3,510	60.2	4,196	36.2	2,918	31.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 4,981百万円 (3.2%) 2024年3月期第1四半期 4,828百万円 (25.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	71.82	
2024年3月期第1四半期	61.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	121,341	100,129	82.4	2,149.90
2024年3月期	121,717	99,847	81.9	2,143.94

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 100,006百万円 2024年3月期 99,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期				101.00	101.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				108.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	4.8	7,200	8.3	7,340	1.3	5,600	0.2	120.37
通期	90,300	4.2	13,600	7.9	13,740	0.2	10,360	0.7	222.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.12「税金費用の計算」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	47,537,426 株	2024年3月期	47,537,426 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,020,437 株	2024年3月期	1,020,076 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	46,517,215 株	2024年3月期1Q	47,301,996 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

①第1四半期連結累計期間の全社業績

(単位：百万円、%)

	当期 (2025年3月期)	前期 (2024年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	22,588	21,200	+1,387	+6.5
営業利益	3,988	3,510	+478	+13.6
経常利益	4,572	4,196	+375	+9.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,340	2,918	+421	+14.4
1株当たり四半期純利益	71.82円	61.71円	+10.11円	—
営業利益率	17.7	16.6	+1.1ポイント	

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、国内や米国では緩やかな回復の動きがみられたものの、欧州では景気の停滞が続きました。また、為替レートは円安がさらに加速しました。

国内は、当社インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数が低調に推移しました。米国はローン金利の高止まりの影響で住宅着工が減少したものの、建設投資は堅調に推移しました。欧州は、インフレに対する懸念や高い金利水準により、依然として先行き不透明な状況が続き、特にドイツでは住宅市況の低迷が継続しました。

このような状況の下で、売上高は225億8千8百万円(前年同期比6.5%の増収)、営業利益は39億8千8百万円(同13.6%の増益)となりました。経常利益は45億7千2百万円(同9.0%の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億4千万円(同14.4%の増益)となりました。

②第1四半期連結累計期間の部門別業績

(単位：百万円、%)

		当期 (2025年3月期)	前期 (2024年3月期)	前年同期比	
				増減額	増減率
オフィス機器部門	売上高	5,321	5,174	+147	+2.8
	セグメント利益	1,085	985	+99	+10.1
	セグメント利益率	20.4	19.0	+1.4ポイント	
インダストリアル 機器部門	売上高	16,456	15,211	+1,244	+8.2
	セグメント利益	3,981	3,458	+522	+15.1
	セグメント利益率	24.2	22.7	+1.5ポイント	
HCR機器部門	売上高	809	814	△4	△0.5
	セグメント利益	△7	10	△17	—
	セグメント利益率	△0.9	1.3	△2.2ポイント	
調整額(全社費用)		△1,070	△944	△126	—
全社	売上高	22,588	21,200	+1,387	+6.5
	営業利益	3,988	3,510	+478	+13.6
	営業利益率	17.7	16.6	+1.1ポイント	

『オフィス機器部門』

オフィス機器部門は、売上高53億2千1百万円（前年同期比2.8%の増収）、セグメント利益は10億8千5百万円（同10.1%の増益）、セグメント利益率は20.4%となりました。

「国内オフィス事業」は、売上高18億1千5百万円（前年同期比1.4%の増収）となりました。

文具関連製品の販売が減少しましたが、提案活動の強化などにより表示作成機「ビーポップ」を中心に文字表示機器の販売が増加しました。

「海外オフィス事業」は、売上高14億3千1百万円（前年同期比10.9%の減収）となりました。

東南アジアの一部地域での景気低迷の影響で、文具関連製品の販売が減少しました。

「オートステープラ事業」は、売上高20億7千4百万円（前年同期比16.7%の増収）となりました。

取引先からの受注が回復基調となり、機械・消耗品の販売がともに堅調に推移しました。

『インダストリアル機器部門』

インダストリアル機器部門は、売上高164億5千6百万円（前年同期比8.2%の増収）、セグメント利益は39億8千1百万円（同15.1%の増益）、セグメント利益率は24.2%となりました。

「国内機工品事業」は、売上高49億円（前年同期比0.4%の減収）となりました。

鉄筋結束機「ツインタイア」の新製品効果により、機械とその消耗品の販売が好調に推移しました。一方で、新設住宅着工戸数の減少の影響により、木造建築物向け工具の販売が減少しました。

「海外機工品事業」は、売上高87億2千9百万円（前年同期比14.9%の増収）となりました。

北米では、建設支出の堅調な推移と5月に発売した鉄筋結束機「ツインタイア」新製品の拡販、土木市場での大口径機の普及拡大により、鉄筋結束機の機械と消耗品の販売が増加しました。欧州では、主要エリアであるドイツや北欧などで厳しい市況が続いているものの、新製品の拡販（北米と同様に5月発売）、市況が堅調なエリアへの活動強化などにより、鉄筋結束機の機械と消耗品の販売が回復しました。

「住環境機器事業」は、売上高28億2千5百万円（前年同期比5.1%の増収）となりました。

主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリフォーム・リプレイスのストック向けで停滞しましたが、一部OEM先向けで伸長しました。

『HCR機器部門』

HCR機器部門は、売上高8億9百万円（前年同期比0.5%の減収）、セグメント利益は△7百万円となりました。

中国のレンタル市場を中心とする海外向け販売が伸長したものの、国内市場向け車いすの販売が減少しました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

連結貸借対照表 要約

(単位：百万円、%)

	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)	前連結会計年度 (2024年3月31日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率
総資産	121,341	121,717	△375	△0.3
純資産	100,129	99,847	+282	+0.3
自己資本比率	82.4	81.9	+0.5ポイント	

資産の部は、前連結会計年度末に比べ、3億7千5百万円減少し、1,213億4千1百万円となりました。

流動資産については、商品及び製品が6億1千4百万円増加しましたが、有価証券が12億9千8百万円減少したことなどにより、4億5千5百万円減少しました。

固定資産については、有形固定資産が1億6千7百万円増加したことなどにより、7千9百万円増加しました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ、6億5千7百万円減少し、212億1千2百万円となりました。流動負債については、未払法人税等が2億4千6百万円増加しましたが、賞与引当金が11億3千4百万円減少したことなどにより、3億4千万円減少しました。

固定負債については、退職給付に係る負債が3億4千6百万円減少したことなどにより、3億1千7百万円減少しました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ、2億8千2百万円増加し、1,001億2千9百万円となりました。

株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益が33億4千万円ありましたが、剰余金の配当が46億9千8百万円あったため、13億5千7百万円減少しました。

その他の包括利益累計額については、為替換算調整勘定が16億4千3百万円増加したことなどにより、16億3千4百万円増加しました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ30億7千6百万円減少したことにより、265億2百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金は、25億2千9百万円増加(前年同期は16億4百万円の増加)となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が47億7千万円、減価償却費が7億8千6百万円、一方で主な減少は、賞与引当金の増減額が11億4千1百万円、法人税等の支払額が13億2千7百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金は、20億9千7百万円減少(前年同期は2億5千6百万円の減少)となりました。主な減少は、定期預金の預入による支出が44億8千1百万円、有形固定資産の取得による支出が7億3千1百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が2億円、一方で主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が17億8千2百万円、定期預金の払戻による収入が15億7千5百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金は、43億2千8百万円減少(前年同期は34億1百万円の減少)となりました。主な減少は、配当金の支払額が42億4千7百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の業績の推移及び想定為替レートの変更などにより、2024年4月26日に公表しました予想値を上回る見込みとなりましたので、2025年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正しました。

なお、詳細につきましては、2024年7月31日に公表しました「第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

配当の状況

当社の配当政策は「連結決算を基準に、純資産配当率5.0%、配当性向50%を目安とする」としています。

当期は、ウクライナ情勢の長期化や欧州の不透明な景気見通し等の社会経済環境、為替動向などが当社業績に影響を及ぼす可能性があります。現在のところ事業収益は好調に推移しており、2024年4月26日に公表しました「1株当たり年間配当金108円」に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,624	31,637
受取手形及び売掛金	15,770	15,512
有価証券	6,595	5,296
商品及び製品	10,839	11,454
仕掛品	1,026	1,061
原材料	2,082	2,176
その他	1,456	1,801
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	69,392	68,937
固定資産		
有形固定資産	26,357	26,525
無形固定資産	514	512
投資その他の資産		
投資有価証券	21,408	21,343
その他	4,054	4,033
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	25,453	25,366
固定資産合計	52,324	52,404
資産合計	121,717	121,341
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,671	3,616
短期借入金	1,050	1,050
未払法人税等	989	1,235
賞与引当金	2,855	1,720
役員賞与引当金	103	29
製品保証引当金	189	182
固定資産撤去費用引当金	26	26
その他	5,411	6,095
流動負債合計	14,297	13,956
固定負債		
長期借入金	125	125
製品保証引当金	15	12
退職給付に係る負債	6,135	5,788
資産除去債務	135	135
その他	1,162	1,194
固定負債合計	7,573	7,256
負債合計	21,870	21,212

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,367	12,367
資本剰余金	10,535	10,535
利益剰余金	70,267	68,909
自己株式	△2,670	△2,671
株主資本合計	90,500	89,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,721	2,742
土地再評価差額金	△339	△339
為替換算調整勘定	5,388	7,031
退職給付に係る調整累計額	1,460	1,430
その他の包括利益累計額合計	9,230	10,864
非支配株主持分	116	122
純資産合計	99,847	100,129
負債純資産合計	121,717	121,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	21,200	22,588
売上原価	11,222	11,504
売上総利益	9,978	11,083
販売費及び一般管理費		
給料	1,521	1,645
賞与引当金繰入額	935	984
役員賞与引当金繰入額	26	29
退職給付費用	201	86
荷造発送費	791	968
販売促進費	323	340
減価償却費	285	315
貸倒引当金繰入額	-	△0
その他	2,383	2,724
販売費及び一般管理費合計	6,468	7,094
営業利益	3,510	3,988
営業外収益		
受取利息	44	75
受取配当金	80	81
為替差益	555	416
その他	27	27
営業外収益合計	708	600
営業外費用		
支払利息	8	7
その他	13	9
営業外費用合計	22	17
経常利益	4,196	4,572
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	199
特別利益合計	0	199
特別損失		
固定資産廃棄損	7	1
投資有価証券売却損	0	-
特別損失合計	7	1
税金等調整前四半期純利益	4,188	4,770
法人税等	1,268	1,430
四半期純利益	2,919	3,339
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,918	3,340

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,919	3,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	442	20
為替換算調整勘定	1,377	1,651
退職給付に係る調整額	88	△29
その他の包括利益合計	1,908	1,642
四半期包括利益	4,828	4,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,824	4,974
非支配株主に係る四半期包括利益	3	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,188	4,770
減価償却費	750	786
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,026	△1,141
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53	△74
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△6	△9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	△394
受取利息及び受取配当金	△125	△156
支払利息	8	7
為替差損益 (△は益)	△444	△325
固定資産廃棄損	7	1
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△199
従業員預り金の増減額 (△は減少)	567	497
売上債権の増減額 (△は増加)	△79	502
棚卸資産の増減額 (△は増加)	74	△235
仕入債務の増減額 (△は減少)	△336	△117
未収消費税等の増減額 (△は増加)	112	-
未払消費税等の増減額 (△は減少)	138	△208
その他の資産の増減額 (△は増加)	△135	△23
その他の負債の増減額 (△は減少)	47	26
小計	3,700	3,705
利息及び配当金の受取額	124	157
利息の支払額	△9	△5
法人税等の支払額	△2,211	△1,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,604	2,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△294	△4,481
定期預金の払戻による収入	143	1,575
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△800	△200
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,500	1,782
有形固定資産の取得による支出	△747	△731
有形固定資産の除却による支出	△1	△0
有形固定資産の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△63	△48
貸付けによる支出	△0	-
貸付金の回収による収入	7	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256	△2,097

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,328	△4,247
非支配株主への配当金の支払額	△1	△0
リース債務の返済による支出	△70	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,401	△4,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	852	819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,201	△3,076
現金及び現金同等物の期首残高	26,987	29,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,786	26,502

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	5,174	15,211	814	—	21,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,174	15,211	814	—	21,200
セグメント利益	985	3,458	10	△944	3,510

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額△944百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△944百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	5,321	16,456	809	—	22,588
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,321	16,456	809	—	22,588
セグメント利益又は損失(△)	1,085	3,981	△7	△1,070	3,988

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,070百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,070百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。